

## アピール

2021年7月29日、福岡県中間市の私立双葉保育園で、送迎バスの中に取り残された5歳男児が熱中症で尊い命を落としました。

報道によると、その日の朝、園長が運転する送迎バスで登園した男児は、後部座席で寝入ってしまい、園長は男児が降車していないことを確認せず、バスを施錠し炎天下の車内に約9時間も閉じ込められていたとのこと。この事件を聞き、私たちは強い衝撃を受け「暑かっただろう。苦しかっただろう。助けてほしかっただろう。」と、胸が締め付けられると同時に、何故このような基本的な安全確認を怠ったのだろうか？という疑問と憤りを感じずにはられません。

この事件から3日後、(8月1日)、私たちは『第51回 SAGA うれしの全私研』の『幼稚園分科会』において、子どもの育つ環境・教育(保育)条件・労働条件などについて学び合い、熱い討論を交わす中で、この事件についても話し合いました。参加者一同が胸を痛めながらも、今回の事件を通して、子どもの命の尊厳を改めて確認し合い、このような事件が二度と起きてはならないこと、そのためには日々の保育の中で、どんな状況であっても一人ひとりの子どもの安全確認を怠らないことを、具体例を挙げながら考え合いました。

私たち保育者は、日常のいかなる状況の中でも、子どもたちの安全で健全な成長を保障していく立場として、常に「子どもたちの命・未来を預かっている」という意識をしっかりと持ち続け、保育にあたっていきたいと思えます。

保育現場で子どもたちと向き合っている、全国の全ての仲間たちと、この想いを共有することを願います。

2021年8月1日

第51回 SAGA うれしの全私研・幼稚園分科会